

小山市まちづくりと新交通の導入に関する検討委員会
第3回 まちづくり部会

議事要旨

日 時：平成28年2月26日(金)13:30～15:00

会 場：小山市役所 本庁3階 会議室4

出席者：18名出席、4名欠席

(1) 第2回 小山市まちづくりと新交通の導入に関する検討委員会まちづくり部会の意見の確認

◇ 意見の確認が行われ了承された。

(2) 小山市高岳引込線沿線地区まちづくり構想(素案)について

(A委員) 小山高専の学生としては小山駅に行きやすいまちになってほしい。

(B委員) 高岳引込線沿線だけでなく、JR水戸線や両毛線や小山駅西口側も含めて考えていく必要がある。ロブレのリニューアルの検討も難航している。今ある地域資源を活かすことを重視していきたい。

(部会長) 都市と農の交流拠点づくりなどは、耕作放棄地の問題をはじめとした地域課題を解決するモデルになり得るように思う。

(C委員) パークアンドライド(P&R)とあるが、小山駅付近まで自動車アクセスしやすくなれば、もっとまちが活性化するのではないか。

(D委員) 小山市は商業施設に行くのに自動車を使う車社会である。(岸委員)

(部会長) 本来であれば、都市の中心部から自動車を排除するのが一般的だが、自動車の位置付けは今後の検討課題の一つである。

(C委員) 自然と共存する地方のいなか暮らしの魅力を高めることが沿線地区の人口増加や定住促進につながると考える。

(部会長) 人口増加や定住促進は重要な視点であり、今後も継続して検討していくべき。

(D委員) 小山駅前の駐輪場が一杯であり、LRTができれば駅前の駐輪場不足が解決されることも一つの効果になるのではないか。また、当社では市内採用枠が限られており、地元の高卒採用がない状況である。

(部会長) 自転車の駐輪問題の解決をアピールできるとよい。また、学生の就職の場を誘致できると良い。学生やNPO等がまちづくり活動に積極的に参加できるソフト施策も組み合わせられるとよい。

(E委員) 高齢者はいずれ自動車を運転できなくなる。まちに出るためには、LRTなどの公共交通の充実が必要。最近では、ボランティアや市民団体の役員を務める人材が少ない。

(部会長) 定年退職者や高齢者が活躍できる仕組みを高岳引込線沿線で構築できると良い。

(F委員) 新交通の駅ができれば居酒屋などが思い浮かぶが、高齢者の居場所づくりが必要であ

る。また、将来像には「ネットワーク」や「スマート化」を入れたい。駅に行けば病院などの情報がすぐにわかるようになるとよい。

(部会長) 地域のきめ細かな情報をネットワークさせることが大事である。将来像の参考にしてまとめられるとよい。

(G委員) この構想には、これまでのまちづくり部会の意見が盛り込まれている。今後、この構想を具体化させていくのがまちづくり部会の役割である。

低未利用地に多世代交流の拠点をなんとか確保できないか。P&Rの駐車場も利用しながら、LRTに乗ってまちに出かけられると良い。子育て世代や高齢者が暮らしやすいまちにしたい。ロブレの子育て施設との連携も考えていきたい。

(H委員) 土地を遊ばせておくことはもったいないと考えており、他からよい話があれば進んでしまうことをご理解いただきたい。地元の自治会にも使ってもらいたいと考えており、まちのことを考えていないわけではない。

(B委員) 小山市内の他の高校等とも連携して技術の集積につなげられると良い。

以上